参考資料
分類名〔病害虫〕

メトコナゾール水和剤のコムギ赤かび病抑制及びデオキシニバレノール低減効果

古川農業試験場

1　取り上げた理由

平成21年度，ムギ類赤かび病に対して新たに登録されたメトコナゾール水和剤は，地上防除だけでなく無人ヘリ防除での登録も取得し，既存の薬剤と比較して赤かび病の発病だけでなく，赤かび病菌が産生するかび毒の一種デオキシニバレノール（以下，DON）に対しても安定的に高い効果を示すことが明らかとなったので参考資料とする。

2　参考資料

１）ムギ類赤かび病に対して新たに登録されたメトコナゾール水和剤（商品名：ワークアップフロアブル）は，既存の薬剤と比較して赤かび病発病及びDONの低減に安定的に高い効果を示す（図１）。

２）本剤は，ブームスプレーヤによる地上防除，無人ヘリ防除のいずれでも，赤かび病発病及びDONの低減に高い効果を示す（図２，３）。

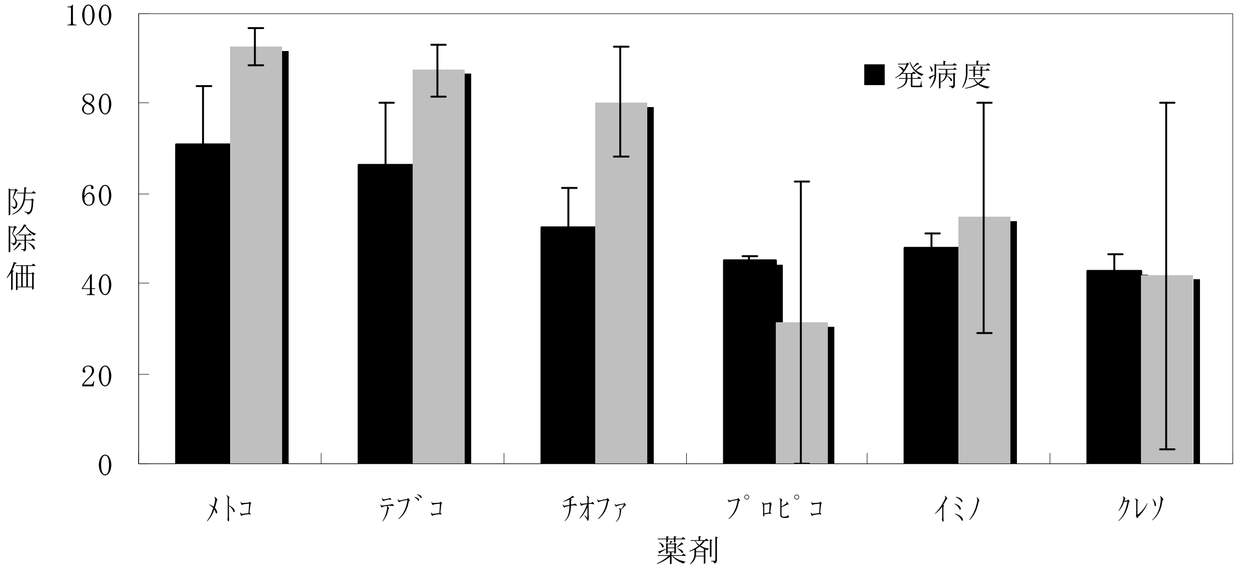

図1　薬剤とコムギ赤かび病およびDON濃度に対する防除価の関係
注1）発病度は3事例，DON濃度は2事例の平均値（2008および2009年）
注2）供試品種はゆきちからまたはシラネコムギ
注3）ﾒﾄｺ：ﾜｰｸｱｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ1000倍，ﾃﾌﾞｺ：ｼﾙﾊﾞｷｭｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ2000倍，
ﾁｵﾌｧ：ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤1000倍，ﾌﾟﾛﾋﾟｺ：ﾁﾙﾄ乳剤1000倍，
ｲﾐﾉ：ﾍﾞﾌﾗﾝ液剤25 1000倍，ｸﾚｿ：ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ2000倍
注4）散布回数は2008年は各1回（開花期），2009年は3回（開花期および以降10日おきに3回，ゆきちから）
注5）散布量はいずれも150ﾘｯﾄﾙ／10a

3　利活用の留意点

１）本結果は，平成20年および21年の場内試験における接種試験の結果であり，平成20年の赤かび病発生程度はやや少，平成21年はやや少～中発生程度であった。

２）メトコナゾール水和剤はトリアゾール系のDMI剤であるが，耐性菌が出現を避けるため，同一系統薬剤の連用は避ける。

（問い合わせ先：古川農業試験場作物保護部　電話0229-26-5108）

4　背景となった主要な試験研究

1）研究課題名及び研究期間

ムギ類赤かび病回避のための防除技術の開発（平成16～20年度）

2）参考データ

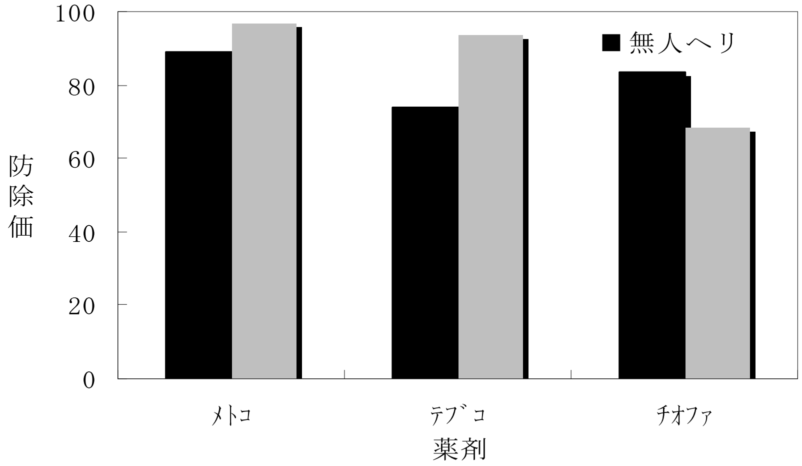

図2　薬剤および防除手法とコムギ赤かび病防除価（発病度）の関係
注1）2009年，場内接種試験の結果
注2）供試品種はゆきちから
注3）無処理区の発病度：無人ヘリ(8.6)，地上防除(10.5)
注4）地上防除：ﾒﾄｺ（ﾜｰｸｱｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ1000倍），ﾃﾌﾞｺ（ｼﾙﾊﾞｷｭｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ2000倍），ﾁｵﾌｧ（ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤1000倍）
無人ﾍﾘ防除：ﾒﾄｺ（ﾜｰｸｱｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ10倍），ﾃﾌﾞｺ（ｼﾙﾊﾞｷｭｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ16倍），ﾁｵﾌｧ（ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMｿﾞﾙ8倍）
注5）散布量は地上防除は150ﾘｯﾄﾙ/10a，無人ﾍﾘ防除は0.8ﾘｯﾄﾙ/10a，散布回数は3回

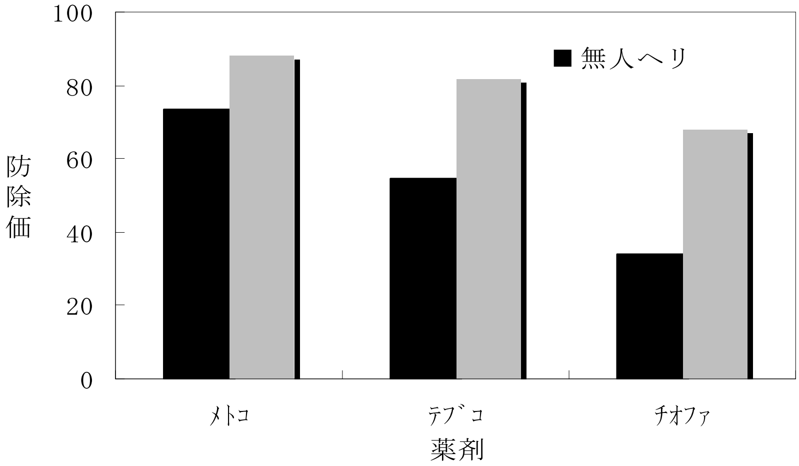

図3　薬剤および防除手法と防除価（DON濃度）の関係
注1）2009年，場内接種試験の結果
注2）供試品種はゆきちから
注3）無処理区のDON濃度：無人ヘリ(1.49)，地上防除(2.73)
注4）地上防除：ﾒﾄｺ（ﾜｰｸｱｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ1000倍），ﾃﾌﾞｺ（ｼﾙﾊﾞｷｭｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ2000倍），ﾁｵﾌｧ（ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤1000倍）
無人ﾍﾘ防除：ﾒﾄｺ（ﾜｰｸｱｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ10倍），ﾃﾌﾞｺ（ｼﾙﾊﾞｷｭｱﾌﾛｱﾌﾞﾙ16倍），ﾁｵﾌｧ（ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMｿﾞﾙ8倍）
注5）散布量は地上防除は150ﾘｯﾄﾙ/10a，無人ﾍﾘ防除は0.8ﾘｯﾄﾙ/10a
散布回数は3回

3）発表論文等

a　大場淳司　宮城県におけるコムギ品種「ゆきちから」の赤かび病の薬剤防除体系の構築と薬剤の評価（2009），北日本病虫研報60　285.